

2025 年 4 月入学〔第 2 回募集〕
広島市立大学大学院
情報科学研究科博士後期課程
学生募集要項

一般入試

社会人特別入試

【本学所定様式】

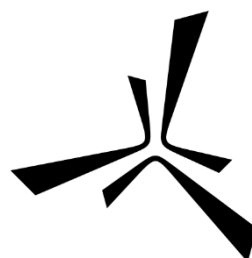
(以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。)

[A票] 入学志願票

[B票] 履歴票

[C票] 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票

入学検定料振込依頼書



Hiroshima City University

発行：2024 年 10 月

情報科学研究科(博士後期課程)の概要

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

情報科学研究科では次のような人を求めています。

- ・ 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人
- ・ 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人
- ・ 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人

2 専攻の概要

専攻は、情報工学系、知能情報科学系、システム科学系、医用情報科学系の4系から構成され、以下のよう
な教育・研究を行っています。

- ・ 情報工学系：次世代の情報科学の技術的基礎となるハードウェア・ソフトウェア開発やネットワーク工学の教育・研究
- ・ 知能情報科学系：人間の知的活動の原理を解明し、情報処理の高度知能化や人間とコンピュータの協調を目指した教育・研究
- ・ システム科学系：複雑化・巨大化するコンピュータシステムの統合技術や計測・制御技術の専門的分野の教育・研究
- ・ 医用情報科学系：情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野における専門的教育・研究

3 授与する学位の種類

博士後期課程では、博士論文の内容により、「博士(情報科学)」または「博士(情報工学)」のいずれかになります。

4 修業年限

博士後期課程の修業年限は3年間とします。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上の在学をもって修了を認めることがあります。

5 長期履修学生制度

博士後期課程の修業年限は上記のとおり3年間ですが、入学後の申請により「長期履修学生」として認められた場合は、修業年限を延長して入学時から4年間、5年間または6年間で計画的に教育課程を履修することができるようになります。この場合、正規の修業年限である3年間分の授業料を、4年間、5年間または6年間で納入することとなるため、「長期履修学生」となったことによって納入すべき授業料の総額が増加することはありません。

「長期履修学生」の申請ができるのは、原則として社会人特別入試により入学した者に限ります。

I 入学者選抜要項

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員	
			一般入試	社会人特別入試
情報科学研究科	情報科学専攻	28名	28名	若干名

※ 募集人員は、情報科学研究科博士後期課程第1回募集との合計人数です。

※ 社会人特別入試の募集人員「若干名」は一般入試の募集人員に含みます。

2 出願資格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者(①～⑥については、2025年3月31日までに取得見込みの者を含む。)

- ① 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学(次号において「国際連合大学」という。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号による。)
- ⑧ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに24歳に達しているもの

(2) 社会人特別入試

一般入試の出願資格①～⑦までのいずれかに該当し、教育機関または研究機関・官公庁・企業等において、2025年3月31日時点で通算して2年以上の勤務経験を有する者

(3) 事前審査

出願資格⑦または⑧により出願しようとする者は、出願資格認定のための事前審査を行いますので、期限までに必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせをしてください。

【問い合わせ期限】2024年11月15日(金)午後5時まで

3 出願手続

出願する前に、本募集要項等を参照のうえ、4ページ「(3)出願先」を通じて、あるいは直接、**指導を希望する教員に研究内容等について事前相談を必ず行ってください。**「(3)出願先」を通じて事前相談を行う場合は、本学アドミッションセンター(nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp)宛に次の事項を送ってください。

件名：情報科学研究科(博士後期課程)入試事前相談
本文：志願者氏名、在籍(出身)大学、指導希望教員名

【事前相談受付期限】2024年12月11日(水)

期限後に事前相談を希望される場合は、アドミッションセンターへご相談ください。

(1) 出願期間

2024年12月18日(水)から12月24日(火)午後5時まで

郵送による出願書類の提出については、出願期限前日の2024年12月23日(月)までの消印がある書留速達に限り、期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

海外から送付する場合は、Express Mail Service (EMS) や DHL 等の追跡サービスのある方法で送付されることを推奨します。

出願締切後、受験番号を通知します。2025年1月31日(金)までに受験番号の通知が届かない場合は、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

(2) 出願方法

出願書類等を一括して角形2号の封筒に入れ、郵送または持参の方法により、出願期間内に本学アドミッションセンターに提出してください。郵送の場合は書留速達郵便とし、封筒表面には「大学院入学試験出願書類在中」と赤字で記載してください。

なお、持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。土曜日、日曜日は受付を行いません。

(3) 出願先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学アドミッションセンター

電話 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

(4) 出願書類等

出願に必要な書類等		作成方法等
①	入学志願票 [A票]	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。 記入にあたっては、欄外に記載した「記入上の注意」をよく読んでください。
②	履歴票 [B票]	
③	受験票	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。
④	写真票	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。上半身、無帽、正面向き、背景なしの出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真の裏面に氏名、生年月日を記入し、のり付けしてください。
⑤	入学検定料振込証明書貼付票	<p>入学検定料 30,000円を、本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。ATM(現金自動預払機)は使用できません。振込後、「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの)を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。</p> <p>なお、ゆうちょ銀行または郵便局を利用される場合は、通帳および印鑑(届印)が必要です。現金による振込はできません。また、本学の振込依頼書と合わせてゆうちょ銀行所定の振込依頼書への記入が必要となります。</p> <p>ただし、2025年3月に本学大学院情報科学研究科博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者は、入学検定料は不要です。</p> <p>【海外に居住する志願者】 ※ 海外に居住する志願者は、入金方法が異なります。詳しくは出願前に「(3)出願先」にE-mailで問い合わせてください。 【支払手続問い合わせ期限】2024年12月4日(水)(日本時間) 支払手続後、本学への振込が完了するまでに日数(3営業日程度)かかりますので、支払手続は2024年12月19日(木)までに完了されることを推奨します。 【本学への振込完了期限】2024年12月24日(火)午後5時(日本時間) ※ 入学検定料についての提出書類はありません。</p>

出願に必要な書類等		作成方法等
⑥	学部成績証明書	出身大学（学部）長等が作成したものを提出してください。
⑦	大学院成績証明書	出身大学（研究科）長等が作成したものを提出してください。
⑧	修了（見込）証明書	最終出身大学（研究科）長等が作成したものを提出してください。 外国の大学等を修了した者で、修了証明書と別個の学位証明書があれば、その原本（コピー不可）も併せて提出してください。⑦大学院成績証明書に修了（見込）年月日が記載されている場合は、学位証明書のみでも可とします。 〔中国の高等教育機関を修了した者は以下の2点を提出してください〕 ・ 修了証明書 ・ 中国高等教育学生信息网（ https://www.chsi.com.cn/xlcx/ ）で修了証書の認証を行い、認証画面を印刷したもの（教育部學歷証書電子注冊備案表）
⑨	修士の学位論文等	修士学位論文またはその他の発表論文等がある場合には、論文リストおよび主要論文の写しを添付してください。 ただし、修士学位論文がない場合には、業績リスト（著書、論文等）を添付してください。
⑩	研究計画書	A4判2枚程度にまとめてください。
⑪	返信用封筒	受験票送付用の定形封筒（長形3号、23.5 cm×12 cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、 110円分の切手を貼付 してください。

(注) 1 ①～⑤（〔A票〕～〔C票〕）の様式および入学検定料振込依頼書は、本学ウェブサイトから所定のPDFファイルをダウンロードし、印刷して使用してください。

様式および入学検定料振込依頼書の印刷ができない場合は、本学アドミッションセンターに請求してください。

2 特別な事情により成績証明書等の提出ができない場合は、これにかわる書類を提出してください。

(1) 学部：大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）から学士の学位を授与された場合は、短期大学成績証明書、専攻科・大学各成績（学位修得）証明書および大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）の学位授与証明書または学位授与申請受理証明書等。

(2) 研究科：外国の大学院修了の場合は、成績証明書・修了証書の写し等。

3 出願書類のうち、日本語または英語以外の外国語で書かれた証明書等には、日本語訳または英語訳を添付してください。

4 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。

5 出願書類の作成・提出に当たっては、自らの責任において、十分に考えたものを提出してください。

(5) 出願上の注意

- ① 必要な書類がすべて揃っていない場合には受理できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、本学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ **一度受理した出願書類および入学検定料は、返還しません。**
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。

(6) 入学検定料の返還

既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。ただし、返還する際に発生した各種手数料は、送金人（志願者）負担となる場合があります。

- ① 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に納入した場合または誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〔返還請求の方法〕

①または②に該当した場合は、出願先に連絡してください。「検定料返還申請書」をE-mailで送付しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

③の場合は、出願書類等の返却の際に「検定料返還申請書」を同封しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

〔申請期限〕 2025年2月28日（金）午後5時必着

(7) 入学検定料の免除

「広島市内の者」で、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は、これを免除します。事前に本学アドミッションセンターに相談し、期限までに申請してください。

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 2025年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 配偶者または1親等の親族が2025年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

〔申請期限〕 2024年11月27日（水）午後5時必着

4 2022年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害で被災した志願者への特例措置

上記の災害で被災した志願者については、出願後の申請により入学検定料を返還します（出願時には入学検定料の振込が必要です）。また、合格者については、申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書および事実を証する書類を要します。詳細については、本学ウェブサイトをご覧ください。

5 受験上および修学上の配慮を希望する者との事前相談

障害のある等の理由で受験上および修学上の配慮を希望する場合は、2024年11月27日（水）までに本学アドミッションセンターにお申し出ください。申請書の様式をお送りしますので、2024年12月4日（水）までに申請書等を本学アドミッションセンターに提出してください。

（申請書の記載内容）

- ① 志願者の氏名、性別、住所、連絡先電話番号
- ② 入試区分、志望専攻等
- ③ 障害等の種類・程度（医師の診断書または障害者手帳（写）を添付してください。）
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校での授業等における配慮事項
- ⑦ 日常生活の状況

※ 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する必要が生じた場合は、速やかに本学アドミッションセンターにお申し出のうえ、申請してください。申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできなかったりする場合には、希望する配慮が行えないこともあります。

※ 申請書に記載された個人情報、受験上および修学上の配慮内容を検討するために利用します。なお、合格決定に利用することはありません。

6 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他）は、入学者選抜、合格通知、入学手続および調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行うために利用します。

また、入学者についての同情報は、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、授業料免除申請等）の業務を行うために利用します。

上記業務の一部は、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で、外部の業者に委託する場合があります。

7 入学者選抜方法

入学者の選抜は、Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行います。当日の詳細については受験票通知時にお知らせします。

(1) 一般入試

① 学力検査等実施日時

日 程	専 攻	試験科目	時 間
2025 年 2 月 14 日 (金)	情報科学専攻	口頭試問	9 : 00 ~ 12 : 30

※ 口頭試問は時間割の範囲内で実施します。開始時刻は別途通知します。

② 学力検査等の内容および評価基準

試験科目	学力検査等内容・評価基準
口頭試問	これまでの研究成果やこれからの研究計画についてのプレゼンテーション(※)を課し、これらに関する試問および志望する研究分野に関する専門的知識の試問を行い、大学院入学の動機・意欲、研究能力、専門分野に関する学力、自己表現力、専門的知識の理解度や思考力を評価します。 【評価：ABCD の 4 段階】

(※) プレゼンテーション用に作成した PowerPoint や資料は Zoom の「画面共有」機能を介して説明してください。時間については、希望する指導教員に問い合わせてください。

③ 合否判定

口頭試問の成績および出願書類を総合して行います。

(2) 社会人特別入試

① 学力検査等実施日時

日 程	専 攻	試験科目	時 間
2025 年 2 月 14 日 (金)	情報科学専攻	口述試験	9 : 00 ~ 12 : 30

※ 口述試験は時間割の範囲内で実施します。開始時刻は別途通知します。

② 学力検査等の内容および評価基準

試験科目	学力検査等内容・評価基準
口述試験	これまでの研究成果やこれからの研究計画についてのプレゼンテーション(※)を課し、これらに関する試問を行います。大学院入学の動機・意欲、研究能力、専門分野に関する学力、自己表現力について評価します。 【評価：ABCD の 4 段階】

(※) プレゼンテーション用に作成した PowerPoint や資料は Zoom の「画面共有」機能を介して説明してください。時間については、希望する指導教員に問い合わせてください。

③ 合否判定

口述試験の成績および出願書類を総合して行います。

(3) 受験上の注意

- ① Web 会議システム「Zoom」を利用したオンライン面接試験を行います。受験者側で Web 会議システム「Zoom」を利用できる機器（パソコン等）やネットワーク環境等の準備が必要になります。なお、オンライン面接の受験に係る費用（通信料等）は受験者ご自身の負担となります。また、不正防止の観点から、面接開始前または面接中に、周りの様子をカメラに映していただくことがあります。プライバシーに関わるものが映らないようご注意ください。スマートフォンを使用する場合は、面接に関係ない電話の着信や E-mail、通知の受信等で面接が中断されることのないよう設定等に十分注意してください。

- ② 受験者は、試験開始 30 分前までに受験票通知の際にお知らせした受験者控室（Zoom ミーティング）に入室してください。
- ③ 面接開始時刻に受験者控室（Zoom ミーティング）に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ④ 当日は、本学の受験票を必ずお手元に携帯してください。
- ⑤ 面接の途中で退席することはできません。退席した場合は失格となります。
- ⑥ 試験当日にインターネットに接続ができない等のトラブルによって、Zoom ミーティングに参加できない場合は受験できないことがあります。
- ⑦ **その他受験者への連絡等が必要になった場合は、受験票通知の際にお知らせします。また、緊急で受験者に連絡する事項がある場合は、本学のウェブサイトに掲載します。**

8 注意事項

- ① なりすまし受験やカンニング行為（出題範囲に関する参考書やメモ等を持ち込むこと、Web ブラウザ（Google Chrome, Firefox 等）や SNS（LINE, X 等）で出題範囲や試験に関する内容を閲覧することを含む）および他の受験者への協力行為等、他の受験者との公平性を欠く行為や、Web 会議システム使用中の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効にすることがあります。また、入学後であっても、入学を取り消すことがあります。なお、その場合出願書類、入学検定料および入学料は返還しません。
- ② 視線が頻繁に動く場合は、カンニング行為等の不正行為をしていないか確認することがあります。
- ③ 事前に接続テスト（下記「9 受験環境の準備」参照）を必ず行ってください。

9 受験環境の準備

受験者は以下の事前準備をしてください。

- ① 第三者が入室しない明るく静かな個室（ゼミ室や自宅、レンタルスペース等）
- ② 動画を送受信できる安定したネット環境
- ③ インターネットに接続が可能なパソコンなど（ウェブカメラ、マイク、スピーカーなどが利用可能で、プレゼンテーションができること）
- ④ ③の予備
- ⑤ 事前に、Zoom アプリを当日使用する機器にインストールし、接続テストを行うこと（予備の機器含む）

- ・ Zoom アプリインストール (<https://www.zoom.us/download>) ※無料版可。アカウントの作成不要。
- ・ Zoom ミーティングのテスト (<https://zoom.us/test>)
- ・ Zoom ヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>)

①または②が準備できないため、本学に来学して特別受験室での受験を希望する場合は以下のとおりアドミッションセンターへ申請してください。

【申請事項】 広島市立大学に来学して特別受験室で受験を希望する受験者

E-mail タイトル：情報科学研究科入試（広島市立大学での受験を希望）

内 容：① 氏名

② 志望専攻

③ 当日の機器の持ち込みについて

（例：パソコン、スマートフォン、タブレットなど）

④ 特別受験室で受験を希望する理由

（例：ネット環境が安定しないため。）

※ 広島市立大学の特別受験室で受験の場合もオンライン方式での受験となります。

※ 申請締切後はいかなる理由があっても受け付けませんので受験者自身で受験環境を整えてください。

また、申請者数によっては対応できない場合もありますのでご了承ください。

【申請期限】 2024 年 12 月 24 日（火）

10 合格者発表

2025年2月26日（水）午前10時

合格者に合格通知書を送付します。

また、本学ウェブサイトでも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、E-mail、郵便等による問い合わせには応じません。

Ⅱ 入学手続, 納付金等

1 入学手続

(1) 入学手続期間

2025年3月3日(月)から3月15日(土)午後5時まで(必着)

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類等は, 合格通知書と併せて直接本人に送付します。
- ② 入学手続書類は必ず**書留速達郵便**とし, 封筒表面に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ, **入学手続期間内に必着**するよう郵送してください。
- ③ 入学手続期間最終日の3月15日(土)のみ持参による提出を受け付けます。受付場所は本学アドミッションセンターです。受付時間は, 午前9時から午後5時までです。
- ④ 入学手続を完了した者には, 入学手続期間終了後, 入学許可書を送付します。

(3) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を行わなかった者については, 入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので, 書類の提出の際には, 十分確認してください。
- ③ 一度受理した**入学手続書類および入学料は返還しません。**
- ④ **卒業(修了)見込みで出願して合格した者は, 卒業後, 速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。入学日前日までに卒業(修了)できなかった場合は, 入学を取り消します。**

2 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

区 分	金 額	
入 学 料	広島市内の者(注)	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

※ 2025年3月に本学大学院情報科学研究科博士前期課程を修了し, 引き続き本研究科博士後期課程に進学する者は, 入学料は不要です。

(注) 「広島市内の者」とは, 次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 2025年4月1日時点で, 継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者
- 2 配偶者または1親等の親族が2025年4月1日時点で, 継続して1年以上広島市内に住所(住民登録が必要)を有している者

(2) 入学後に納付するもの

区 分	金 額	納付時期
授業料(年額535,800円)(注)	267,900 円	4月末まで
	267,900 円	10月末まで

(注) 1 授業料は, 2024年4月現在の金額です。改定を行った場合には, 改定時から新授業料を適用します。
2 「長期履修学生」の授業料(年額)は, 修業年限に相当する授業料の総額を, 長期履修期間の年数を除して得た額になります。「長期履修学生」については2ページを参照)。

(3) 入学料・授業料の減免等

① 入学料の減免

次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

ア 入学前1年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合

イ 入学前1年以内に、入学する者または学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ 入学する者が「広島市内の者」であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

② 授業料の減免または徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免または徴収猶予を受けることができます。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

Ⅲ 研究分野

系	研究指導単位	指 導 内 容	担 当 教 員		
情報工学系	コンピューティング	リコンフィギャラブルシステムの設計と応用	教授	○弘中哲夫	
		ディペンダブルコンピューティング	教授	○井上智生	
		論理設計とスイッチング回路理論	教授	○永山忍	
		ストカスティックコンピューティング	教授	○市原英行	
		プログラミング言語処理系とソフトウェア開発環境	准教授	川端英之	
		量子コンピューティングの理論と応用	准教授	Martin Lukac	
	コミュニケーション	通信サービスの高信頼化, 通信プロトコルの高度化	教授	○石田賢治**	
		大規模複雑ネットワークの分析と制御	教授	○高野知佐	
		通信ネットワーク制御の設計および高度化	准教授	小畑博靖	
		情報セキュリティ, ネットワークセキュリティ, 暗号理論	准教授	稲村勝樹	
	センシング	ワイヤレスネットワークと電波センシングシステム	教授	○西正博	
		モバイルネットワーク	教授	大田知行	
		自律分散制御のためのネットワークソフトウェア	准教授	舟阪淳一	
		3D原子イメージング科学の先端センサ材料創成への応用	准教授	八方直久	
		高信頼な無線通信方式と電波測位方式	准教授	高橋賢	
		無線ネットワークと電波応用システム	講師	小林真	
	知能情報科学系	データ科学	グラフ構造データに対する機械学習法とデータマイニングへの応用	教授	○内田智之
			代数多様体の理論とその情報科学分野への応用	教授	○齋藤夏雄
非構造化データからの知識発見とその工学的応用			教授	○田村慶一	
多次元データベースとその応用			准教授	黒木進	
知識発見における機械学習手法とグラフ理論の応用			准教授	宮原哲浩**	
機械学習を用いたグラフ構造化データからの知識発見とその応用			講師	鈴木祐介	
人間情報学		知的システムにおける知識表現と学習機構	教授	○高濱徹行*	
		生物的適応システムのモデル化とその工学的応用	教授	○原章	
		先進的学習支援システムおよび感性工学における学習理論	教授	○松原行宏	
		教育・学習システムにおける知識表現モデルと知識獲得	准教授	岩根典之*	
		知的検索インターフェースと実社会データへの応用	准教授	梶山朋子	
		計算知能システムに関するモデリングと実データへの応用	准教授	鎌田真	
		学習分析・教育データマイニングにおける教育・学習支援	准教授	毛利考佑	
		AR/VRを用いた学習支援手法およびシステム実装に関する研究	講師	岡本勝	
知能情報学		音声言語情報処理と自然言語処理	教授	○竹澤寿幸***	
		情報理論と情報統計力学	教授	○三村和史	
		学習機械の確率的特性解析	准教授	岩田一貴	
		数理モデルによるヒト行動モデリングおよびデータサイエンス	准教授	下川丈明	
	物理現象の解析にもとづくコンピュータビジョン技術	准教授	宮崎大輔		
	感情情報処理とマルチモーダルインタラクションシステム	准教授	目良和也		
	高精細コンピュータグラフィックス	講師	馬場雅志		

系	研究指導単位	指 導 内 容	担 当 教 員	
システム科学系	数理システム デザイン	確率制御理論とその応用	教授	○田中輝雄
		組込みシステムの形式的検証および設計最適化	教授	○中田明夫
		代数多様体の分類理論，特異点理論	准教授	廣門正行
		関数近似と変数変換の開発・改善とその応用	准教授	岡山友昭
		進化アルゴリズムと組合せ最適化	准教授	村田佳洋
		環境情報取得とその制御	准教授	福島勝**
		量子情報における数理構造とその応用	准教授	桑田精一
	人間・ロボット 共生	介護支援ロボット用インタフェース，Air Jetによる非接触物体操作	教授	○岩城敏*
		人間-機械-環境系の最適設計と救急搬送技術への応用	教授	○小野貴彦
		インテリジェント制御システムの設計	教授	○小寄貴弘
		人間-ロボット間の相互作用，人間と協調する自動運転	准教授	池田徹志
		バーチャルリアリティおよび複合現実型実応用	准教授	脇田航
	インタフェース デザイン	サウンドデザインとその評価，適応音響制御，心理音響	教授	○石光俊介
		コンピュータビジョン，車椅子ロボットおよびマン・マシン・インタフェース	教授	○李仕剛
		マルチエージェントシステムとその応用に関する研究	准教授	神尾武司
		分散システムのためのソフトウェア技術	准教授	島和之
		音響認識システム，非定常音を対象としたブラインド音源分離	准教授	中山仁史
	医用情報科学系	計算機実験による金属タンパク質の機能発現機構の解明と応用	教授	○鷹野優
		定量的な画像バイオマーカーおよび画像評価手法に関する研究	教授	○松本圭一
マイクロマシンデバイスとその医用応用		教授	○式田光宏	
高精度で脳機能ダイナミクスを読み取る非侵襲ブレインマシンインタフェース		教授	○樋脇治	
情報通信技術の医療・ヘルスケアシステムへの応用		教授	○田中宏和	
病気の診断に用いるバイオセンサーの開発		准教授	釘宮章光	
視覚情報処理の基本原則とその視覚情報計測技術への応用		准教授	中野靖久**	
医用画像診断支援のための医用画像処理		准教授	青山正人	
ヒトの認知・運動機能に関する計算論的研究		准教授	福田浩士	
脳機能の解明とその医学・工学・福祉への応用		准教授	常盤達司	
医薬品設計に向けた物質変換反応の計算化学的研究		准教授	齋藤徹	
MEMS技術とそれの生体情報計測への応用		准教授	長谷川義大	
MEMS・集積マイクロシステムとその医用応用	講師	AL FARISI Muhammad Salman		

注1：担当教員および指導内容は2024年4月1日のものです。

注2：○印は主指導教員です。

注3：*の教員は2025年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

注4：**の教員は2026年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

注5：***の教員は2027年3月末で退職予定ですので，志望にあたり留意してください。

【社会人学生への配慮】

本研究科博士後期課程では，開講する科目を必要に応じて夜間に実施するなど，高度な専門の学術知識の修得を目指す社会人が在職のまま大学院へ進学し得るよう配慮します。

